

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 (財)石川県国際交流協会

1. 事業名称

石川県地域日本語教室支援事業

2. 事業の目的

石川県内ではこの数年、新規の地域日本語教室の開講が続いている。また同時に既存の教室でも相互交流型の授業を取り入れるところが出てきている。このような動きに伴い、改めて教室での日本語サポーターの役割や、どのようなスキルを持っている必要があるのかを見直す機運が全体的に高まっている。

今回の事業では、特に初級レベルの学習者への対応についてサポーターから多く質問を受けることを考慮し、初級学習者に対して地域日本語教室でどのように接し、日本語を教える際にはどんな内容を取り上げるのか、またそれを教えるためにはサポーターにはどのようなスキルが必要なのかをテーマとして取り上げ、カリキュラムや教材のモデルの作成、県内各地での研修会の実施、フォーラム開催による情報交換と問題の共有を行い、これらの取り組みを通して県内日本語教室で課題を共有しながら解決案を探り、公開、共有する。

3. 事業内容の概要

- 生活者としての外国人として必要となる基礎的な日本語を短期間で身につけることができる初級日本語クラスの開催とそのノウハウの県内他教室へのフィードバック。
- 生活面に注目し、短期間で学ぶことができる初級日本語教育教材の開発。
- 初級レベルの日本語授業の具体的な進め方を取り上げた研修会の県内各地での実施。
- 課題と解決案の共有を図る石川県日本語教室フォーラムの開催。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年10月1日 16:00～18:00	2時間	石川県国際交流センター	星亨 今井武 小島晶子 鹿野みどり 古林秀美	開講前の打合せ	「ようこそ石川日本語クラス」を開講するに至った地域日本語教育の事情について担当講師に説明。また、各課の内容として予定しているものについて大まかに説明。協会側で準備する教材、資料と各講師に準備してほしいものについて確認。

2	平成 24 年 12 月 17 日 16:00-18:00	2 時 間	石川県国 際交流セ ンター	星亨 今井武 小島晶子 鹿野みどり 古林秀美	反省会 および 教材作 成の検 討会	「ようこそ石川日本語クラス」終了後の各担当者から意見を聞く。授業を行った際に扱いにくかったかや練習について意見を聞いた。また、この授業の進め方がうまく合わなかった学習者の例などについて分析した。それらのフィードバックから使用教材を冊子としてまとめる上での方針、項目、内容を決定した。
3	平成 25 年 3 月 9 日 16:00~17:30	1 時 間 3 0 分	石川県国 際交流セ ンター	広瀬奈々 中村知恵 星亨 今井武	日本語 教師& サポー ターの ための 移動セ ミナー につい て	小松市国際交流協会、金沢市国際交流財団の最近の状況とセミナー実施後の変化、参加者の感想等を聞く。小松市では日系ブラジル人が多く、日本語能力試験対策の授業など具体的な成果が見えないと学習者が集まらない傾向があり、交流型の授業に限界を感じている。しかし、以前はプライベートクラスばかりであったのが、クラス授業に切り替わりつつあり、異なった背景を持つ学習者間でどのようにやりとりを進めるかは今回のセミナーで取り上げた内容とマッチしていた。金沢市国際交流財団の教室では、とにかくボランティアと学習者に楽しく長く活動に参加してもらうことが課題であり、その点今回のセミナーは役に立ったとのこと。

【写真】



5. 日本語教室の設置・運営

- (1) 講座名称: にこにこ話そうクラス(交流型クラス)
- (2) 目的・目標:

日本語が話せない・苦手な在住外国人が短期間で最低限必要な日本語でのコミュニケーション能力を身につけることができるような地域日本語教室のモデル作りを行い、県

内の他教室に紹介する。

- (3) 対象者: 在住外国人(特に日本語初級者)
- (4) 開催時間数(回数) 交流型クラス: 43.5 時間 (全 29回)
- (5) 使用した教材・リソース:「生活者としての外国人のための日本語教育の標準的なカリキュラム 教材例集」、「にほんご宝船」、「わたしのにほんご」等
- (6) 受講者の総数 31 人
出身・国籍別内訳: 計 31 人 (中国 14 人、台湾 1 人、韓国 6 人、タイ 3 人、ポーランド 2 人、ベトナム 2 人、カナダ 1 人、フランス 1 人、アルゼンチン 1 人)
- (7) 受講者の募集方法
県内の日本語教室、国際交流団体、図書館、公民館、大学等に案内チラシを送付。当協会日本語教室を受講している受講生にもチラシを配布。
* 案内チラシを最終ページに添付

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成24年7月19日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	4	中国(1人)、タイ(2人)、カナダ(1人)	自己紹介	自己紹介ゲームでサポーターと学習者で自己紹介をする。	1名	今井武	3名	浅井伊都子、浦上章子、柳川秀子	作成教材、プリント
2	平成24年7月26日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	3	中国(2人)、タイ(1人)	「にほんご宝船」	「にほんご宝船」を使って、それぞれ興味のあるプリントを持ってペアで活動。	1名	星亨	3名	浅井伊都子、村島睦子、浦上章子	作成教材、プリント
3	平成24年8月2日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	9	中国(6人)、タイ(3人)、カナダ(1人)、	「にほんご宝船」	「にほんご宝船」を使って、それぞれ興味のあるプリントを持ってペアで活動。	1名	今井武	3名	浅井伊都子、村島睦子、柳川秀子、	作成教材、プリント
4	平成24年8月9日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	10	中国(6人)、タイ(3人)、ポーランド(1人)	夏の過ごし方	日本の夏の過ごし方を紹介。	1名	星亨	4名	浅井伊都子、浦上章子、富島美詠子、森加寿子、	作成教材、プリント
5	平成24年8月23日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	6	中国(4人)、タイ(2人)、ベトナム(1人)	日本に来てびっくりしたこと	日本に来てびっくりしたことをグループで話し合い、発表。	1名	今井武	5名	浅井伊都子、村島睦子、浦上章子、富島美詠子、森加寿子、	作成教材、プリント
6	平成24年8月30日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	11	中国(6人)、タイ(2人)、ポーランド(2人)、ベトナム(1人)、	夏にしたこと	夏休みにどこへ旅行したか、どんな発見をしたか、友だちに聞いてみる。	1名	星亨	2名	村島睦子、浦上章子	作成教材、プリント

7	平成24年9月6日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	16	中国(8人)、タイ(2人)、ポーランド(2人)、韓国(4人)、	日本の季節、自国の季節	日本の季節の特徴を考える。自国と比べ、珍しいことやびっくりしたことを発表。	1名	今井武	4名	浅井伊都子、村島睦子、浦上章子、栗野直子、	作成教材、プリント
8	平成24年9月13日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	13	中国(8人)、タイ(2人)、ポーランド(2人)、韓国(1人)、	料理	3つのグループに分かれて、料理の作り方について話す。その後「最近気になること」について話す。	1名	星亨	5名	浅井伊都子、村島睦子、浦上章子、富島美詠子、森加寿子、	作成教材、プリント
9	平成24年9月20日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	14	中国(8人)、タイ(2人)、ポーランド(2人)、韓国(1人)、カナダ(1人)	最近日本語でできたこと	最近日本語でできるようになったことについてグループに分かれて話し合い。次に「日本語を使ってしたいこと」について話す。	1名	今井武	3名	浅井伊都子、浦上章子、森加寿子、	作成教材、プリント
10	平成24年9月27日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	11	中国(5人)、タイ(2人)、ポーランド(2人)、韓国(2人)、	日本語の勉強について	日本語のクラスでしたいことについてサポーター、学習者全員で希望を出し合った。	1名	星亨	7名	浅井伊都子、村島睦子、浦上章子、柳川秀子、森加寿子、栗野直子、竹内美幾、	作成教材、プリント
11	平成24年10月4日 15:15-16:45	1.5時間	石川県国際交流センター	9	中国(5人)、タイ(2人)、ポーランド(2人)、	餃子の作り方	学習者1名が餃子の作り方を説明。皆で餃子を包んだ。作り方のプリントを準備してくれた。	1名	今井武	4名	浅井伊都子、村島睦子、柳川秀子、森加寿子、	作成教材、プリント
12	平成24年10月11日	1.5時間	石川県国際交流センター	11	中国(4人)、フランス(1人)、タイ(2人)、ポ	ポテトサラダ	ポーランド式のサラダを皆で作る。その後、日記を書く	1名	星亨	4名	浅井伊都子、村島睦子、浦上章子、森	作成教材、プリン

	15:15-16:45	間	ンター		ーランド(2人)、韓国(1人)、カナダ(1人)	の作り方	ループと交通について話すグループに分かれた。				加寿子、	ト
13	平成 24 年 10 月 18 日 15:15-16:45	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	11	中国(4人)、フランス(1人)、タイ(2人)、ポーランド(2人)、韓国(1人)、カナダ(1人)	旅	一人が小スピーチ「金沢弁」。これまでした旅行のことをグループで話し合う。	1名	今井武	4名	浅井伊都子、浦上章子、森加寿子、竹内美幾、	作成教材、プリント
14	平成 24 年 10 月 25 日 15:15-16:45	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	7	中国(4人)、タイ(2人)、韓国(1人)、	音楽	一人が小スピーチ「音楽」。音楽の歴史を皆で振り返る。	1名	星亨	2名	浅井伊都子、浦上章子、	作成教材、プリント
15	平成 24 年 11 月 1 日 15:15-16:45	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	6	中国(3人)、タイ(人)、ポーランド(2人)、韓国(1人)、	私の夢	小さい夢、中くらいの夢、大きい夢を皆で話し合う。後半は「韓国」についての小発表。	1名	今井武	4名	浅井伊都子、浦上章子、森加寿子、清水初音、	作成教材、プリント
16	平成 24 年 11 月 8 日 15:15-16:45	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	10	中国(4人)、タイ(2人)、ポーランド(2人)、韓国(2人)、	名前	それぞれの国の名前の由来、構成について話し合う。	1名	星亨	2名	浅井伊都子、浦上章子、清水初音、	作成教材、プリント
17	平成 24 年 11 月 15 日 15:15-16:45	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	9	中国(6人)、タイ(2人)、韓国(1人)、	冬の準備	自分の国の季節の紹介。金沢の冬で困ること、冬の準備について話す。	1名	今井武	4名	森加寿子、宇津美穂、清水初音、	作成教材、プリント
18	平成 24 年 11 月 22 日 15:15-16:45	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	8	中国(4人)、タイ(2人)、韓国(2人)、	ペット	どんなペットを飼っているか、それぞれの国のペット事情、昔話によく出てくる動物、いい動物と悪い動物について話す。	1名	星亨	4名	浅井伊都子、浦上章子、森加寿子、清水初音、	作成教材、プリント

19	平成 24 年 11 月 29 日 15:15-16:45	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	10	中国(6人)、台湾(1人)、タイ(2人)、韓国(1人)、	習い事	今週あった楽しいことについてまず話す。子どもの習い事、勉強以外の部活動やボランティアについて話す。	1名	今井武	6名	浅井伊都子、浦上章子、柳川秀子、森加寿子、竹内美幾、清水初音、	作成教材、プリント
20	平成 24 年 12 月 4 日 15:15-16:45	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	3	タイ(2人)、韓国(1人)、	年末の行事、歌	年末の行事について知っていることを話し、自分の国の大きな行事についても話す。歌「なだそうそう」	1名	星亨	3名	柳川秀子、森加寿子、清水初音、	作成教材、プリント
21	平成 24 年 12 月 18 日 15:15-16:45	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	5	中国(1人)、フランス(1人)、タイ(2人)、韓国(1人)、	クリスマス	各国のクリスマス事情について。歌「きよしこの夜」	1名	今井武	5名	浦上章子、柳川秀子、栗野直子、宇津美穂、清水初音、	作成教材、プリント
22	平成 25 年 1 月 10 日 15:15-16:45	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	6	中国(3人)、台湾(1人)、タイ(1人)、韓国(1人)、	お正月	日本のお正月を体験してみたの感想。日本にいなかった人は、自国のお祭り紹介。	1名	星亨	6名	浅井伊都子、浦上章子、森加寿子、宇津美穂、清水初音、中川久恵	作成教材、プリント
23	平成 25 年 1 月 17 日 15:15-16:46	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	4	中国(1人)、台湾(1人)、タイ(1人)、韓国(1人)、	冬で困ること	初めての日本の冬で何か困っていることはないか。困っている人にアドバイスを考える。	1名	今井武	4名	浅井伊都子、浦上章子、森加寿子、宇津美穂、	作成教材、プリント
24	平成 25 年 1 月 22 日 15:15-16:47	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	4	中国(1人)、タイ(2人)、韓国(1人)、	文作り	「～といえば」連想ゲーム。助詞から文を作る活動。	1名	星亨	4名	浦上章子、森加寿子、栗野直子、清水初音、	作成教材、プリント
25	平成 25 年 2 月 7 日	1.5 時	石川県国 際交流セ	2	アルゼンチン(1人)、タイ(1人)	ジェスチャー	新入生への質問。各国のジェスチャーの違い。	1名	今井武	2名	浅井伊都子、浦上章子	作成教材、プリン

	15:15-16:48	間	ンター									ト
2 6	平成25年2 月12日 15:15-16:49	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	3	アルゼンチン(1人)、タイ(2人)	嫌いな もの	嫌いな季節、食べ物、生き物、人について話す。	1名	星亨	3名	浦上章子、柳川秀子、森加寿子	作 成 教 材、プリン ト
2 7	平成25年2 月21日 15:15-16:50	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	10	中国(2人)、ポーランド(2人)台湾(1人)、タイ(2人)、アルゼンチン(1人)、韓国(1人)、ベトナム(1人)	嫌なこと	毎日の生活でいやなこと、絶対にいやな仕事について話す。	1名	今井武	4名	浅井伊都子、森加寿子、清水初音、中川久恵	作 成 教 材、プリン ト
2 8	平成25年2 月26日 15:15-16:51	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	7	中国(1人)、タイ(2人)、ポーランド(2人)、韓国(2人)、	あの人 につい て話す	心の中の「あの人」について話す。後半は「あの人」をめぐるマインドマップを作る。	1名	星亨	5名	浅井伊都子、浦上章子、森加寿子、栗野直子、宇津美穂、中川久恵	作 成 教 材、プリン ト
2 9	平成25年3 月5日 15:15-16:52	1.5 時 間	石川県国 際交流セ ンター	6	中国(1人)、タイ(1人)、ポーランド(2人)、韓国(2人)、	川	自分の川のイメージを絵にする。その絵をめぐるエピソードなど説明を考えて発表する。	1名	今井武	5名	柳川秀子、森加寿子、栗野直子、宇津美穂、中川久恵	作 成 教 材、プリン ト

- (1) 講座名称: ようこそ石川日本語クラス
- (2) 目的・目標:
日本語が話せない・苦手な在住外国人が短期間で最低限必要な日本語でのコミュニケーション能力を身につけることができるような地域日本語教室のモデル作りを行い、県内の他教室に紹介する。
- (3) 対象者: 在住外国人(特に日本語初級者)
- (4) 開催時間数(回数) ようこそ日本語クラス: 45 時間 (全 30回)
- (5) 使用した教材・リソース:「ようこそにほんごへ」、「生活者としての外国人のための日本語教育の標準的なカリキュラム 教材例集」、等
- (6) 受講者の総数 13人
出身・国籍別内訳: 計 13 人 (中国 1 人、韓国 1 人、タイ 1 人、アメリカ 2 人、アイルランド 1 人、ニュージーランド 1 人、南アフリカ 2 人、イギリス 1 人、ブラジル 1 人、カナダ 2 人)
- (7) 受講者の募集方法
県内の日本語教室、国際交流団体、図書館、公民館、大学等に案内チラシを送付。
* 案内チラシを最終ページに添付

1 (8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師数	講師名	補助者数	補助者	備考
1.	平成 24 年 10 月 10 日 13:30-15:00	1.5 時間	石川県国際交流センター	9	中国(1人)、アメリカ(1人)、イギリス(1人)、タイ(1人)、南アフリカ人(2人)、ブラジル(1人)、ニュージーランド(1人)、韓国(1人)	人と出会う	初めて人と出会った時に自己紹介をする。	1名	小島晶子	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
2.	平成 24 年 10 月 10 日 17:00-18:30	1.5 時間	石川県国際交流センター	4	カナダ(2人)、アイルランド(1人)、アメリカ(1人)	人と出会う	初めて人と出会った時に自己紹介をする。	1名	小島晶子	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
3.	平成 24 年 10 月 12 日 13:30-15:00	1.5 時間	石川県国際交流センター	9	中国(1人)、アメリカ(1人)、イギリス(1人)、タイ(1人)、南アフリカ人(2人)、ブラジル(1人)、ニュージーランド(1人)、韓国(1人)	家族	自分の家族を人に紹介し、名前、趣味、仕事などについて説明できる。	1名	鹿野みどり	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
4.	平成 24 年 10 月 12 日 17:00-18:30	1.5 時間	石川県国際交流センター	4	カナダ(2人)、アイルランド(1人)、アメリカ(1人)	家族	自分の家族を人に紹介し、名前、趣味、仕事などについて説明できる。	1名	鹿野みどり	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
5.	平成 24 年 10 月 17 日 13:30-15:00	1.5 時間	石川県国際交流センター	7	中国(1人)、イギリス(1人)、タイ(1人)、南アフリカ人(2人)、ニュージーランド(1人)、韓国(1人)	町	自分が住んでいる町や、出身の町について説明できる。	1名	鹿野みどり	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
6.	平成 24 年 10 月 17 日 17:00-18:30	1.5 時間	石川県国際交流センター	3	カナダ(1人)、アイルランド(1人)、アメリカ(1人)	町	自分が住んでいる町や、出身の町について説明できる。	1名	鹿野みどり	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
7.	平成 24 年 10	1.5	石川県国	7	アメリカ(1人)、イギリス(1人)、	うち	自分が住んでいるうちの	1名	古林	なし	なし	「ようこそ

	月 19 日 13:30-15:00	時間	際 交 流 セ ン ター		タイ(1 人)、南アフリカ人(2 人)、 ニュージーランド(1 人)、韓国(1 人)		中にあるものや家の所在 地を説明できる。		秀美			日 本 語 へ」
8.	平成 24 年 10 月 19 日 17:00-18:30	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	4	カナダ(人)、アイルランド(人)、 アメリカ(人)	う ち	自分が住んでいるうちの 中にあるものや家の所在 地を説明できる。	1 名	古 林 秀美	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
9.	平成 24 年 10 月 24 日 13:30-15:00	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	6	イギリス(1 人)、タイ(1 人)、南ア フリカ人 2(人)、ニュージーランド (1 人)、韓国(1 人)	私 の 一 週 間	自分の一週間の予定を説 明でき、人の予定も聞くこ とができる。	1 名	古 林 秀美	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
10.	平成 24 年 10 月 24 日 17:00-18:30	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	2	カナダ(1 人)、アメリカ(1 人)	私 の 一 週 間	自分の一週間の予定を説 明でき、人の予定も聞くこ とができる。	1 名	古 林 秀美	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
11.	平成 24 年 10 月 26 日 13:30-15:00	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	4	イギリス(1 人)、タイ(1 人)、ニュ ージーランド(1 人)、韓国(1 人)	私 の 一 日	自分の一日の予定につい て説明できる。	1 名	小 島 晶子	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
12.	平成 24 年 10 月 26 日 17:00-18:30	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	2	カナダ(1 人)、アメリカ(1 人)	私 の 一 日	自分の一日の予定につい て説明できる。	1 名	小 島 晶子	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
13.	平成 24 年 10 月 31 日 13:30-15:00	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	7	アメリカ(1 人)、イギリス(1 人)、 タイ(1 人)、南アフリカ人(2 人)、 ニュージーランド(1 人)、韓国(1 人)	買 い 物	よく買い物に行く場所やよ く買う物について説明でき る。	1 名	鹿 野 みどり	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
14.	平成 24 年 10 月 31 日 17:00-18:30	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	4	カナダ(2 人)、アイルランド(1 人)、アメリカ(1 人)	買 い 物	よく買い物に行く場所やよ く買う物について説明でき る。	1 名	鹿 野 みどり	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
15.	平成 24 年 11	1.5	石 川 県 国	4	アメリカ(1 人)、イギリス(1 人)、	持 ち 物	どんな持ち物があるか説	1 名	小 島	なし	なし	「ようこそ

	月 2 日 13:30-15:00	時間	際 交 流 セ ン ター		ニュージーランド(1 人)、韓国(1 人)		明し、それがどんなものか 説明できる。		晶子			日 本 語 へ」
16.	平成 24 年 11 月 2 日 17:00-18:30	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	4	カナダ(2 人)、アイルランド(1 人)、アメリカ(1 人)	持ち物	どんな持ち物があるか説明し、それがどんなものか説明できる。	1 名	小 島 晶子	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
17.	平成 24 年 11 月 7 日 13:30-15:00	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	5	アメリカ(1 人)、イギリス(1 人)、タイ(1 人)、ニュージーランド(1 人)、韓国(1 人)	仕事	自分の仕事やその内容について説明できる。	1 名	古 林 秀美	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
18.	平成 24 年 11 月 7 日 17:00-18:30	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	4	カナダ(2 人)、アイルランド(1 人)、アメリカ(1 人)	仕事	自分の仕事やその内容について説明できる。	1 名	古 林 秀美	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
19.	平成 24 年 11 月 9 日 13:30-15:00	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	5	アメリカ(1 人)、イギリス(1 人)、タイ(1 人)、ニュージーランド(1 人)、韓国(1 人)	食べ物	よく食べるものや自分の国の有名な食べ物、食習慣について説明できる。	1 名	鹿 野 みどり	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
20.	平成 24 年 11 月 9 日 17:00-18:30	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	4	カナダ(2 人)、アイルランド(1 人)、アメリカ(1 人)	食べ物	よく食べるものや自分の国の有名な食べ物、食習慣について説明できる。	1 名	鹿 野 みどり	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
21.	平成 24 年 11 月 14 日 13:30-15:00	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	4	イギリス(1 人)、タイ(1 人)、ニュージーランド(1 人)、韓国(1 人)	私 の こ れ まで	日本に来るまでの自分の人生について説明できる。	1 名	古 林 秀美	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
22.	平成 24 年 11 月 14 日 17:00-18:30	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	3	カナダ(2 人)、アメリカ(1 人)	私 の こ れ まで	日本に来るまでの自分の人生について説明できる。	1 名	古 林 秀美	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」
23.	平成 24 年 11 月 16 日 13:30-15:00	1.5 時間	石 川 県 国 際 交 流 セ ン ター	5	アメリカ(1 人)、イギリス(1 人)、タイ(1 人)、ニュージーランド(1 人)、韓国(1 人)	私 の 故 郷	自分のふるさとがどんなところか人に説明できる。	1 名	小 島 晶子	なし	なし	「ようこそ 日 本 語 へ」

24.	平成 24 年 11 月 16 日 17:00-18:30	1.5 時間	石川県国際交流センター	3	カナダ(2 人)、アメリカ(1 人)	私の故郷	自分のふるさとがどんなところか人に説明できる。	1 名	小 島 晶子	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
25.	平成 24 年 11 月 21 日 13:30-15:00	1.5 時間	石川県国際交流センター	3	イギリス(1 人)、タイ(1 人)、韓国(1 人)	季節、行事、習慣	自分の国の季節や行事、習慣について説明し、それを日本と比較できる。	1 名	小 島 晶子	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
26.	平成 24 年 11 月 21 日 17:00-18:30	1.5 時間	石川県国際交流センター	3	カナダ(2 人)、アメリカ(1 人)	季節、行事、習慣	自分の国の季節や行事、習慣について説明し、それを日本と比較できる。	1 名	小 島 晶子	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
27.	平成 24 年 11 月 28 日 13:30-15:00	1.5 時間	石川県国際交流センター	2	イギリス(1 人)、韓国(1 人)	健康	体の部位や病気の症状を説明でき、健康についての習慣を説明できる。	1 名	古 林 秀美	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
28.	平成 24 年 11 月 28 日 17:00-18:30	1.5 時間	石川県国際交流センター	2	カナダ(1 人)、アイルランド(1 人)	健康	体の部位や病気の症状を説明でき、健康についての習慣を説明できる。	1 名	古 林 秀美	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
29.	平成 24 年 11 月 30 日 13:30-15:00	1.5 時間	石川県国際交流センター	2	タイ(1 人)、韓国(1 人)	男と女	男と女の役割観の違いについて比較したり、意見を述べたりできる。	1 名	鹿 野 みどり	なし	なし	「ようこそ日本語へ」
30.	平成 24 年 11 月 30 日 17:00-18:30	1.5 時間	石川県国際交流センター	2	カナダ(1 人)、アイルランド(1 人)	男と女	男と女の役割観の違いについて比較したり、意見を述べたりできる。	1 名	鹿 野 みどり	なし	なし	「ようこそ日本語へ」

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

下記シートを使って、日本語サポーターと学習者で、日本と自分の国の習い事事情について、話し合う。適宜、どんなことについて話し合ったか、ほかの人に紹介したいことをクラスで発表。

授業例1. にここ話そうクラス 「習い事」

① あなたの ^{くに} 国の ^こ 子どもたちは、^{がっこう} 学校が おわった あと、どこで 何を しますか。

② 日本の ^こ 子どもたちは 「習い事」を ^{なら} する人も ^{ごと} います。 「習い事」って、何でしょう
か。
^{した} 下に ^{なら} どんな「習い事」が ^{ごと} あるか ^か 書いてください。

--

③上の ^{うえ} 「習い事」で ^{なら} 自分が ^{じぶん} してみたいのは、どれですか。

④上の「習い事」で ^{うえ} 自分の ^{なら} 子どもに ^{じぶん} ^こ させたいのは、どれですか。

⑤あなたの ^{くに} 国には、どんな ^{なら} 「習い事」が ^{ごと} ありますか。

^こ ほかに 子どもが ^{ごと} しなければならない ^か ことがありますか。

⑥あなたの ^{くに} 国の ^こ 子どもは 幸せですか。

⑦おとも ^{なら} 「習い事」を ^{ごと} しますか。

授業例 2. ようこそ石川日本語クラス 授業プラン

実施日	平成 24 年 4 月 1 9 日
-----	-------------------

目標	家の中に何があるか描写・説明できるようになる。 日本と自国の家の中の違いを対比させて説明できるようになる。
話題	自分の家に何があるか、母国の家の中と何が違うか
語彙文型	机、椅子、ドア、窓、天井、床、 自転車がある（所有）。机の上に家族の写真がある（存在）。 ～に～が欲しい。もっと～部屋が欲しい。
場面	
備考	

活動ユニット（導入 部屋の中の物の名前）

分	活動の種類	活動の内容
	部屋の中にある物の名前 1	①「多言語やりとり素材集」P.4 イラスト「田中さんの休日」を配る。（A3 に拡大コピー） ② 3 分間ゲーム ペアで部屋の中の物の名前を書く。 ③ たくさん分かった人が勝ち。 ④ わからないことばの聞き方 「これは日本語で何と言いますか」 ⑤ ペアまたはクラス全体で知らないことばの聞きあい。知らなかった物の名前は自分のプリントにメモする。
	部屋の中にある物の名前 2 パネルバンク	「写真パネルバンク」衣食住シリーズ 3 2 ～ 4 9 家の中の写真 ① 一枚ずつ写真を見せる。教師から学習者へ問い「これは日本語で何と言いますか」 ② わからなかったことばはプリントにメモする。 ③ 自国の家と比較 パネルバンク写真を並べ、 「これは私の家ではありません」 「これは私の国ではありません」

活動ユニット（自分の部屋にある物について説明する）

分	活動の種類	活動の内容
	部屋・建物の種類	田中さんの家族は何人？ たぶん一人。 「アパート、一戸建て、マンション、寮」に住んでいます。 Q：どんな家に住んでいますか。 A：アパートの3階に住んでいます。 2階建てに住んでいます。
	自分の部屋/家	自分の部屋の絵を描く。書き方は自由。
	自分の部屋/家の紹介	①何があるか 「私の部屋に～や～や～があります」 ②どこにあるか 「机の上にプリンターがあります。本棚の前に自転車があります」 ③大切なものは何か 「これはとても大切です」

活動ユニット（自分の希望）

分	活動の種類	活動の内容
	部屋を描写する形容詞	私の部屋/家は、《広い、狭い、大きい、小さい、寒い、高い、安い、新しい、古い、きれい、汚い》です。
	～が欲しい ～が買いたい	①自分の部屋の描写 「私の部屋は狭いです。そして少し寒いです」 ②欲しいもの 「エアコンがありません。エアコンが欲しいです」 ③もっと 「もっと広い部屋が欲しいです」
	夢の部屋：	①絵を描く ②発表 「もっと広い部屋がほしいです。とても広いです。ベッドがあります。」

活動ユニット（まとめ）

分	活動の種類	活動の内容
	作文「わたしのへや」	「私の部屋」というテーマで、今日勉強した文型を使って短い作文にまとめる。



(10) 目標の達成状況・成果

授業終了後に受講学習者および担当講師、サポーターに聞き取りを行った。学習者、講師双方からあがった成果としては下記のようなものがあった。

- 従来型の文法習得を中心とした教室であれば、落ちこぼれてしまったような、日本語の運用力が比較的低い人、また学習のペースがゆっくりの人でも授業についていくことができた。
- 学習者間のやりとりが多く、教室が常にいい雰囲気だった。学習者同士が補い合うような雰囲気が作られた。
- 上のクラスに上がっても、日本語を使おうとする力、自分が言いたいことを言おうとする努力において、受講者は優れていた。
- 交流型の「にこにこ話そうクラス」を設けたことで、文法を中心とした授業では十分自分のことを話す時間が持てなかった学習者が、間違いを気にせずに時間をかけて自分のことを日本語で表現する機会を持てた。

(11) 改善点について

今回の事業では、いずれのクラスでも、教室の参加者同士の交流や、自分自身を日本語で表現することに重きを置いているが、それでもやはり文法を集中的に勉強したい、日本語の構造を理解したいなど日本語の文法や構造の理解をしたいという受講者も少なからずいる。これらの学習者に対して、クラスの中で、またコース全体として、どのように対応していくのか、また、現在は日本語コースの一部分だけがやりとりを重視した相互交流型の授業となっているが、その他の文法中心型の授業とどのように両立させていくのか、棲み分けを行っていくのかも検討課題である。

また、交流型の「にこにこ話そうクラス」には、多くの日本人住民が関心を持ち、ボランティアとして参加している。地域の中で、これらのクラスがどのような役割を果たすべきか、また地域内にある他の日本語教室とどのように協力、棲み分けしていくかもまた検討課題である。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称:「日本語教師 & サポーターのための移動セミナー」
- (2) 目的・目標: 地域日本語教室で初級学習者と接する際に、基本的な日本語の力を上げ

るためにどのような日本語学習支援を行うことができるのか、教材や教え方についての研修を実施する。

- (3) 対象者:石川県内で地域日本語教育に携わる方
- (4) 開催時間数(回数) 50 時間 (全21回)
- (5) 使用した教材・リソース:「生活者としての外国人に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案」、「にほんご宝船」、「日本語おしゃべりのたね」、「わたしのにほんご」、「ようこそにほんごへ」等
- (6) 受講者の総数 93 人
(出身・国籍別内訳 日本 91 人、中国 1、フィリピン 1)
- (7) 受講者の募集方法
県内の日本語教室に案内チラシを送付。石川県日本語教室フォーラムでも広報。石川県日本語教室メーリングリストでも広報。

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 7 月 8 日 10:00-14:00	4 時間	石川県国際交流センター	17 人	日本(17 人)	第 2 回石川県日本語教室フォーラム	平成 23 年度石川県日本語教室実態調査結果報告、県内 2 教室の活動紹介、能登地域インドネシア人漁業研修生日本語習得支援者による概要紹介、及び懇談会。
2	2012/10/27 10:00-12:00	2.5 時間	白山市国際交流サロン	11 人	日本(10 人、中国 1 人)	教科書に息を吹き込む	活動を楽しく、意味のあるものにするための効果的なタスクの考え方と、教科書のドリルやスキット練習をタスク化する方法。
3	2012/11/9 13:00-15:30	2.5 時間	白山市国際交流サロン	11 人	日本(10 人、中国 1 人)	生活会話で文法を教える	練習のための練習ではない、生活場面で役立つ文法の習得を目指すための指導方法を考える。
4	2012/11/15 9:30-12:00	2.5 時間	寺井地区公民館	10 人	日本(10 人)	外国人に分かりやすい日本語の使い手になる	わかりやすい日本語の使い手になることと、「よき聞き手」、「よき話し相手」になるためのトレーニング。
5	2012/11/22 9:30-12:00	2.5 時間	寺井地区公民館	10 人	日本(10 人)	学びのある教室を目指して	教室活動のなかで、いかにして「学び」を起こすかの考察と、学習者のレベルに気づく、そして学習者の間違いに気づくトレーニング。
6	2012/11/27 13:00-16:00	3 時間	白山市松任文化会館	11 人	日本(10 人、中国 1 人)	日本語教室のコースデザインを考える	授業で取り扱いたい内容を複数回に割り振り、コースとして確立する方法を知る。

7	2012/11/28 18:30-20:30	2 時間	宝達志水町 さくらドーム	8人	日本(7人、中 国人1人)	外国人に分かりやす い日本語の使い手 になる	わかりやすい日本語の使い手になることと、 「よき聞き手」、「よき話し相手」になるためのと レーニング。
8	2012/12/5 14:00-16:00	2 時間	七尾鹿島労 働福祉会館	10人	日本(10人)	生活会話で文法を教 える教える	練習のための練習ではない、生活場面で役立 つ文法の習得を目指すための指導方法を考 える。
9	2012/12/6 18:30-21:00	2.5 時 間	輪島市文化 会館	7人	日本(7人)	日本語教室のコース デザインを考える	授業で取り扱いたい内容を複数回に割り振 り、コースとして確立する方法を知る。
10	2012/12/10 18:00-21:00	3 時間	ラポルトす ず	6人	日本(6人)	これだけは知ってお きたい日本語文法と その教え方①	初級文法をテーマに文法学習そのものが目的 化せず、すぐに役立てられるように授業を組み 立てる方法を学ぶ。
11	2012/12/12 18:30-20:30	2 時間	宝達志水町 さくらドーム	8人	日本(7人、中 国人1人)	「交流型授業」で達 成感を得るために	IFIE での実践を振り返りながら、日本人サポー タとの交流活動を中心とした授業を効果的に 進めるための条件を考える。
12	2012/12/13 18:30-21:00	2.5 時 間	輪島市文化 会館	7人	日本(7人)	相手のニーズにあっ た生きた日本語	それぞれの学習者に必要な日本語を共に考 え、それを扱う授業内容の検討。
13	2012/12/15 10:30-12:30	2 時間	宇野気図書 館	4人	日本(4人)	学びのある教室を目 指して	教室活動のなかで、いかにして「学び」を起こ すかの考察と、学習者のレベルに気づく、そし て学習者の間違いに気づくトレーニング。
14	2012/12/17 18:00-21:00	3 時間	ラポルトす ず	6人	日本(6人)	これだけは知ってお きたい日本語文法と その教え方②	初級文法をテーマに文法学習そのものが目的 化せず、すぐに役立てられるように授業を組み 立てる方法を学ぶ。

15	2013/1/11 13:30-15:30	2 時間	宇野気生涯 学習センタ ー	4人	日本(4人)	教科書に息を吹き込 む	活動を楽しく、意味のあるものにするための効 果的なタスクの考え方と、教科書のドリルやス キット練習をタスク化する方法。
16	2013/1/16 18:30-21:00	2.5 時 間	七尾鹿島労 働福祉会館	6人	日本(6人)	「初期指導の日本 語」考え方と実践	IFIE 作成の「ようこそにほんごへ」を例に地域 日本語教育での初期指導について考える。
17	2013/1/26 14:00-16:30	2.5 時 間	石川県留学 生交流会館	5人	日本(5人)	相手のニーズにあっ た生きた日本語	それぞれの学習者に必要な日本語を共に考 え、それを扱う授業内容の検討。
18	2013/2/2 10:00-12:30	2.5 時 間	内灘町文化 会館	9人	日本(9人)	これだけは知ってお きたい日本語文法と その教え方①	初級文法をテーマに文法学習そのものが目的 化せず、すぐに役立てられるように授業を組み 立てる方法を学ぶ。
19	2013/2/9 10:00-12:30	2.5 時 間	内灘町文化 会館	9人	日本(9人)	これだけは知ってお きたい日本語文法と その教え方②	初級文法をテーマに文法学習そのものが目的 化せず、すぐに役立てられるように授業を組み 立てる方法を学ぶ。
20	2013/3/2 13:00-15:30	2.5 時 間	石川県国際 交流センタ ー	6人	日本(6人)	「初期指導の日本 語」考え方と実践	IFIE 作成の「ようこそにほんごへ」を例に地域 日本語教育での初期指導について考える。
21	2013/3/9 13:00-15:30	2.5 時 間	石川県国際 交流センタ ー	11人	日本(11人)	「交流型授業」で達 成感を得るために	IFIE での実践を振り返りながら、日本人サポー タとの交流活動を中心とした授業を効果的に 進めるための条件を考える。

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

「日本語教師&サポーターのための移動セミナー」

1. 日本語文法と教え方 平成25年2月2日(土) 内灘町文化会館

1. 文法のYes-No アンケート

- | | | | |
|----------------------------------|-----|---|----|
| ① 文法は外国語を教えるときには大切だ。 | Yes | ・ | No |
| ② 文法を教えなければ、日本語教室とは言えない。 | Yes | ・ | No |
| ③ 文法の勉強は難しい。 | Yes | ・ | No |
| ④ 文法さえできれば、日本語は完ぺきだ。 | Yes | ・ | No |
| ⑤ 文法を知らなくても、日本語が上手な人はいる。 | Yes | ・ | No |
| ⑥ 地域の日本語教室で、文法を教えるのは大変だと思う。 | Yes | ・ | No |
| ⑦ 私は文法を教える以外に、地域日本語教室でやりたいことがある。 | Yes | ・ | No |

2. 文法シラバスの初級日本語教材とは? (例、『みんなの日本語 初級1』、『同2』)

- 2冊で初級レベル修了。
- 200～300時間必要(1.5時間×2回×4週×16カ月＝約200時間)。
- 文型・文法シラバス(「～てもいい」「～てください」「～ています」等、応用可能な文の基本の形「文型」を)
- 20年間、国内外の多くの日本語教育機関で使われている。

3. 地域日本語教室で文法を教えることは何が難しいですか。

①教師やサポーターの問題

- 文法に関する知識そのものが不足している。

日本語話者だからといって、日本語の文法がわかるわけではない。

- 文法を中心とした授業だと、準備が大変。

文法は、文法書を読んだだけで、その文法を使った日本語表現を作れるわけではない。機械的なドリルをしたり、その文法が出てくる場面の会話練習をしたりすることが多いが、その準備には非常な手間がかかる。

②学習者の問題

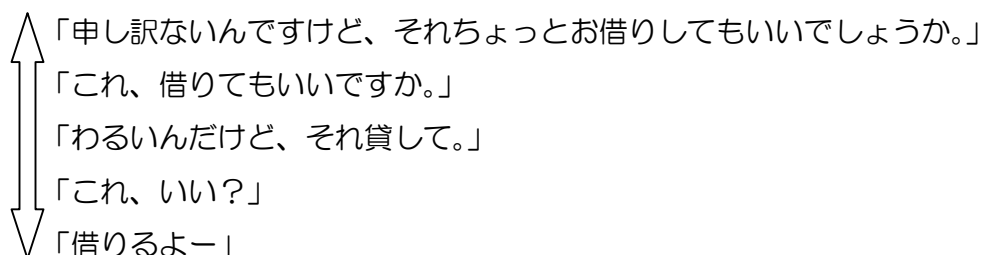
- 学習者の側に文法を中心とした授業に対応する準備がない。

- ・文法学習を中心とした外国語学習に慣れていない人もいる。
- ・仕事、家事、育児等で、予復習の時間が取れない。
- ・日々の生活の必要に迫られているので、文法が積み上がるまで待てない。

「文法積上げ式」の教材

③文法シラバス（文法を教えることを中心とした教え方や教材）の問題

- いつ、誰に、どのような意図でその文法が必要になるのかが、あまり考慮されていない。



- ひとつの課にある文法同士に関連性があまりない。

例：「みんなの日本語1」35課

1. 春になれば、桜が咲きます。ボタンを押せば、開きます。
2. 北海道旅行なら、6月がいいです。無理なら、金曜日に来て。
3. 結婚式のスピーチは、短ければ短いほどいい。年を取れば取るほど。

- 日常生活であまり使わない文法がある。

「～なければならない」「～てはいけない」「～つもりだ」「命令形」等、使用頻度がそれほど高くない文法も載っている。

■形容詞の活用（小林ミナ09）

非過去・肯定	否定	過去・肯定	否定
「さむい」	「さむくない」	「さむかった」	「さむくなかった」
91.6%	2.1%	6.2%	0.08%

- 「いい、ない、すごい、多い、悪い、欲しい、高い、おいしい、しょうがない、よろしい」～使用された形容詞の75%（上位3つで60%）
- 「いい」の用法～単独の「いいです」ではなく、「～するといい、～すればいい、～だといい、～ほうがいい」として使われる

- 「文法を学ぶ」＝「使える」ではない。

日本語を「使える」ようになるためには、文法の構造や正しい形を頭で理解するだけでなく、「使いながら身につける」必要がある。

④地域日本語教室の役割に関する問題

文法シラバスで、「正しい文法」を「正確に」使えるようになることを目指すことが、地域日本語教室の目的にそぐわないことがある。

●地域日本語教室には多様なニーズがある。

- ・ 正しくなくても、とにかく日本語でたくさん話したい。
- ・ 同国人や他国の外国人と交流や情報交換がしたい。
- ・ 家族や職場以外の人と話したい。家や職場以外の日本を知りたい。

●教室での役割が固定してしまう。

日本人=「正しい」文法を教える人（一方的な情報提供になりがち）



外国人=自分の文法を「正しく」直してもらおう人（常に受身になりがち）

⇒ 地域日本語教室の答え？

「やりとり」自体を重視した教室活動を授業の中心に据える。

- 「いつか・どこかで・誰かと」話すための予行演習を地域日本語教室ではなく、「今、ここにいる、私たちで」やりとりすること自体を、教室の目的とする。
- 今、この場でのやりとりに必要な文法を、その場で必要な形で学ぶことで、参加者全員にとって効率的に負担が少なく学ぶことができるのではないか。

*ただし、文法の正確さを必要としている人（接客業、人と交渉する仕事など）や、日本語の構造や体系に興味を持っている人（留学生や大学講師など）もいるので、実際の教室活動は、教室ごと、学習者ごとに工夫が必要。

5. 文型シラバスの教科書に出てくる文法要素についての提案

コミュニケーションに重きを置いた日本語文法の研究から初級日本語教育の文法の取り扱いについては下記のような提案がされている。

- ① 「らしい、ようだ」よりも「みたいだ」がよく使われる。
- ② 受身文は複雑だが、使わなくても同じ状況を表現できる。
- ③ 「行かないです」と「行きません」の使用割合はそれぞれ 70%、30%。
- ④ イ形容詞の否定形は聞いてわかればよい。反対語を言えばよい。
- ⑤ 「～へ参ります、存じております」はビジネス場面しか使わない。
- ⑥ 「申します」は「言う」の謙譲語と教えるよりも、自己紹介の表現「〇〇と申します」として教えるだけでよい。
- ⑦ 命令形「止まれ」、禁止形「来るな」は一部の人以上不要。
- ⑧ 「つもりです」は「～しようと思う」が使えれば覚えなくてもよい。もし覚えるなら、「～

つもりで～した」の方がよく使う。

6. 人は何を見て「コミュニケーションが上手だ」と感じるか

口頭で話をしたりする場合、相手が上手にコミュニケーションができているかどうかは、文法や表現が正しいかどうかだけでなく、下記のような要素を考慮している。

- ①「らしさ」その人の役割やその場の雰囲気になさわしいか
- ②なさわしい感情や態度がとれているか
- ③礼儀がきちんとしているか
- ④必要な情報や伝えたい意味、発話の意図が明確になっているか
- ⑤何をどんな順番で話すか。「流れ」がうまくできているか。

⇒ 文法だけでなく、コミュニケーションの相手や場所、目的、発話意図、改まり度など多くの要素を考慮して初めて、なさわしいやりとりができる。

＊ 外国人住民に、日本人が考える「なさわしい」やりとりをさせるのがよいのかは、別に検討しなければならない。

7. 取り組みの例

①学習者の日本語を評価する新たな枠組みを作ろう

「JF 日本語教育スタンダード」

CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）を参考に、国際交流基金が日本語教育のコース作成、評価の基準として作り上げた。

- 「コミュニケーション言語能力・コミュニケーション言語活動」
- 「産出・受容・やりとり」

②その人の文法的な知識だけでなく、日本語で何ができるかを評価しよう

⇒「とよた日本語学習支援システム」の「日本語能力判定」

③日常生活場面で実際に使うことができる日本語を、文法を意識しながら学んでもらおう。

「外国人母親のための子育て日本語表現」ヤマガタヤポニカ

(10) 目標の達成状況・成果

能登、加賀それぞれの地域で 10 回ずつのセミナーを開催し、普段から研修の機会を求めている地域の日本語教室の日本語講師、日本語サポーターにはおおむね好評だった。研修を受けることで自分の授業を見直すことができた、違った教材にもチャレンジしてみようと思ったなどの答えが聞かれた。また、普段ミーティングなどをする機会が限られており、同じ教室の他の教師に会って話をする機会も少ないので、同じ場で同じ課題について考える良い機会となったという声もあった。

(11) 改善点について

今回のセミナーの目的は、セミナーに参加してもらい、研修内容を各教室に持って帰ってもらうことももちろん大切であったが、もうひとつ巡回してセミナーを行うことで、他の教室を会場にした会にも参加してもらい、教室同士の横のつながりを作ろうという意図もあった。いくつかの教室では近隣の教室の方の参加もあり、情報・意見交換を行えたところもあった。しかし、やはり絶対数は少なく、状況の異なる教室間で情報、課題を共有する難しさを感じ、また、石川県は南北に長く、交通機関も限られているため、そんな環境で相互交流を進める難しさもまた感じさせられた。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 「ようこそ にほんごへ」
- (2) 対象 初めて日本語を学ぶ人、また少し話せるが学校で初めて日本語を学ぶ人
- (3) 目的・目標 相互交流型の日本語授業を基礎に置きながら、来県直後など日本語がまだあまり話せない在住外国人に、日本で生活する上での必要最低限の日本語でのコミュニケーション能力を短期間で身につけてもらえるような授業を提供できるよう、その手掛かりとなる教材集を作成し、県内の日本語教室に提供する。
- (4) 構成 16 ユニットから成る。それぞれのユニットには、学びのポイント、ことばマップ、表現リスト、活動プラン、活動シートを準備した。
- (5) 使い方 各ユニットには、教材を実際に使ってみた例として、いわゆる教案(活動プラン)をつけた。地域日本語教室では、この活動プランを参考にして各教室の事情に合わせて授業内容を変えることができる。活動シートもいくつかのバリエーションを用意している部分もあり、この教材をたたき台としてオリジナルの教材、授業を作ってもらうのが望ましい使い方である。
- (6) 具体的な活用例 平成 24 年度 IFIE 日本語教室内の「ようこそ日本語教室」で「ようこそ にほんごへ」を使って授業を行った。冊子として受講者に配布するのではなく、毎回担当講師が教材の中からそのクラスや学習者に合った内容を適宜選択し、コピーし配布し授業を行った。

また、「日本語教師 & サポーターのための移動セミナー」でも、教材例として提示し、地域日本語教室でクラス内に日本語のレベル差や日本での生活経験に差がある場合の

活用例などを示した。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

石川県内ではこの数年、新規の地域日本語教室の開講が続いている。また同時に既存の教室でも相互交流型の授業を取り入れるところが出てきている。このような動きに伴い、改めて教室での日本語サポーターの役割や、どのようなスキルを持っている必要があるのかを見直す機運が全体的に高まっている。

今回の事業では、特に初級レベルの学習者への対応についてサポーターから多く質問を受けることを考慮し、初級学習者に対して地域日本語教室でどのように接し、日本語を教える際にはどんな内容を取り上げるのか、またそれを教えるためにはサポーターにはどのようなスキルが必要なのかをテーマとして取り上げ、カリキュラムや教材のモデルの作成、県内各地での研修会の実施、フォーラム開催による情報交換と問題の共有を行い、これらの取り組みを通して県内日本語教室で課題を共有しながら解決案を探り、公開、共有する。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

これまでも県内の地域日本語教室に対しては、従来型の文法や表現を中心とした日本語の教え方とは違った、同じ地域住民である日本人住民と外国人住民が出会い、日本語を使って情報を共有し、気持ちを通わせ、課題の解決方法を考えるような教室のあり方は紹介をしてきた。

このような日本語教室のあり方について共感の意見も多い一方で、ではそのような授業の中で文法や表現、語彙といったものをどのように扱い、学習者に伝えていくかということについてたびたび質問を受けた。

これに対する答えを探るため、今回の事業の中で「ようこそほんごへ」という教材を作り、「ようこそ石川日本語クラス」を運営し、各地で研修を行いながら各地域の先生方の意見も聞いてきた。

地域での日本語教育のあり方やそこで扱う教材がどのようなものであるべきかについては簡単に答えは出ないものの、ここで作成した教材を実際に使い、地域での使用例からフィードバックを得ることで課題解決を行っていきたいと考えている。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

「標準的なカリキュラム案」については、「移動セミナー」の中で教材のひとつとして積極的に紹介した。外国人住民が日常生活で出会うであろう場面や場所での日本語使用場面が取り上げられており、日本人受講者からも外国人住民がどんな場面で困るのかを知ることができ、サポートのヒントとなると感想があった。また、無料でインターネット経由でダウンロードできる点も日本語サポーターや講座受講者から好評だった。

教材の内容としては、具体的な生活場面を取り上げている点が実生活に即してよいという意見もあったが、逆にパターン化された会話や情報が多く取り上げられていることで、これだけを教材とするのでは、地域住民同士の交流という面では一方的な情報や知識の伝達に陥ってしまうのではないかと危惧する声も聞かれた。

また、すべてダウンロードするとかなりボリュームがあり、ボランティアベースで日本語教育にかかわり始めた人にはハードルが高く、コーディネーターがその地域、教室に合わせて、どの部分を使うかアドバイスする必要を感じた。しかし、実際には、当県のようにコーディネーターとして活動できる人が少ないところでは、普通の授業の様子や参加学習者のニーズを把握し、各教室に合わせて提示するところまではなかなかできないのが現状である。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

石川県は南北に長く、各市町、各教室間も離れているため、周囲の日本語教室と情報交換の機会を持つことがなかなか難しく、また金沢での研修に参加するのも時間や費用の面で負担は大きい。そのため、今回のように巡回型の研修講座は各教室でも好意的に迎えてもらっている。各教室の中心的な教師は金沢やそれ以外の地域で行われる研修等に参加する機会を作っている人も多いが、それ以外の方たちにとってはこのような巡回型の研修が唯一の研修の機会とのことだった。

ボランティアベースの教室では、会議の時間を持つことさえ難しく、研修会の日に久しぶりに講師全員が集まることができたという話も数か所で聞いた。また、少数だが他教室で行われたセミナーに参加された方もおり、そのような場合は活発に各教室の活動状況について意見・情報交換が交わされていた。

このような研修の機会を持つことは、研修で情報や知識を伝える機会を持つこと自体にも意味があるが、外から人が訪れることで、各教室の中での人同士の関係や情報交換、意志疎通の手段、経路に刺激を与え、継続的な活動を行うための節目のような役割も果たしていると感じた。

(5) 改善点、今後の課題について

県内の日本語教室の多くは、同じ市町内にほかに教室がない状況で活動しており、また金沢から地理的に離れた教室もある。教室の規模も日本語サポーターの数が5～10名が多い。そのため、教室内だけで課題を共有し解決するには限界があり、同じ市町内の他の機関・団体とどのように連携するか、また近くの市町、教室とどのように問題を共有し協力していくかが課題である。

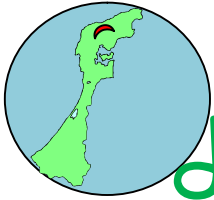
そのために、県内教室が集まる石川県日本語教室フォーラムを開催したり、今回のように巡回型のセミナーを開催しているが、まだまだ各教室が他の教室の活動に強い関心を持ったり、積極的に他の教室の活動を見学に行ったりということは起きていない。

今後もインターネットを活用したオンラインでのつながりや、各教室間での人の行き来を促

すような顔の見えるつながりを目指す活動、行事、研修会などを実施していきたいと思う。

また、今回の事業のテーマのひとつでもあったが、住民同士の交流を中心とした教室運営・活動の中で、どのように日本語レベルの上達を実感させ、また実際に日本語の文法や表現の知識や運用力を高める授業を継続的にやっていくかは、どの教室でも課題になっていると思われる。

今回の教材作成や教室運営でも、明確な解決の方法が見つかったわけではないが、今回の教材作成をきっかけに、そのようなニーズが各教室にかなり強くあるということはわかった。今後、作成した教材を各教室に使ってもらい、また教材の使い方の研修に伺うことで、各教室の課題をさらに深く知り、協力しながら解決の道を探っていければと思っている。



いしかわにほんご

ようこそ石川日本語クラス

はじ にほんご べんきょう ひと にほんご いちど
「初めて日本語を勉強する人」や「日本語をもう一度
さいしょ べんきょう ひと
最初からきちんと勉強したい人」のためのクラスです。

ようび しゅう かい かようび もくようび
曜日： 週 2回 火曜日と木曜日

じかん あさ
時間： 朝クラス 9:00 ~ 10:30
ひる
昼クラス 13:30 ~ 15:00
よる
夜クラス 17:00 ~ 18:30

きかん しゅうかん き
期間： 2013年4月9日（火）～5月30日（木） 4週間×2期

じゅこうりょう きぶん きぶん
受講料： ￥5,000-（1期分） ￥10,000-（2期分）

がくせい すく つく
＊学生が 少ないときは、クラスを 作ることができません。

＊このクラスの後、スケジュールクラスレベル1（初級）に 入れます。

ほかにも いろいろな クラスが あります。

ひらがなを べんきょう ひと よ か
勉強したい人には・・・「読み書きクラス」

たくさん はな ひと
話したい人には・・・「にこにこ話そうクラス」

もっと にほんご じょうず ひと すけじゅーるくらす
日本語が 上手な人には・・・「スケジュールクラス」

もう こ しつもん か き ねが
申し込み、質問は 下記に お願いします。

いしかわけんこくさいこうりゅうきょうかい あいふいー なかしま ほし いまい
(財) 石川県国際交流協会 (IFIE) 中島、星、今井
920-0853 いしかわけん かなざわし ほんまち りふぁーれ かい
石川県 金沢市 本町1-5-3 リファール3階
かなざわえきひがしぐち ある ふん
(金沢駅東口 歩いて5分)
でんわ ふ あっくす
電話：076-222-5931 ファックス：076-222-5932
めーる
メール：ijsclass4@ifie.or.jp

あたら

はじ

新しいクラスが始まります！

はな

にここに話そうクラス

にほんじん

日本人と

もっと

はな

話したい

ひと

人、日本の

せいかつ

生活

について

知りたい

ひと

人、日本や

にほん

にほんご

日本語について

て

しつもん

質問したい人は、

ひと

ぜひ

き

来てください！

ひ

日にち：

まいしゅう

毎週

もくようび

木曜日

じかん

ごご

じ

じ

ふん

時間： 午後3時15分～4時45分

ばしょ

かい

だいけんしゅうしつ

場所： リファール4階 大研修室

かね

● お金はいりません。

こ

● 子どもがいる人には託児サービスも予定しています。

たくじ

よてい

7月19日（木）から



IFIE日本語教師&サポーターのための 移動セミナー2012

2012年10月27日～2013年3月9日

能登エリア

11月28日(水)宝達志水町さくらドーム

◆テーマ4: 外国人にわかり易い日本語

12月5日(水)七尾鹿島労働福祉会館

◆テーマ7: 生活会話で文法を教える

12月6日(木)輪島市文化会館

◆テーマ3: 日本語教室のコースデザイン

12月10日(月)ラポルトすず

◆テーマ1: 日本語文法とその教え方①

12月12日(水)宝達志水町さくらドーム

◆テーマ10: 「交流型授業」再考

12月13日(木)輪島市文化会館

◆テーマ6: ニーズにあった生きた日本語

12月15日(土)宇ノ気生涯学習センター

◆テーマ5: 学びのある教室をめざして

12月17日(月)ラポルトすず

◆テーマ2: 日本語文法とその教え方②

1月11日(金)宇ノ気生涯学習センター

◆テーマ8: 教科書に息を吹き込む

1月16日(水)七尾鹿島労働福祉会館

◆テーマ9: 初期指導の考え方と実践

加賀エリア

10月27日(土)白山市国際交流サロン

◆テーマ8: 教科書に息を吹き込む

11月9日(金)白山市国際交流サロン

◆テーマ7: 生活会話で文法を教える

11月15日(木)能美市寺井地区公民館

◆テーマ4: 外国人にわかり易い日本語

11月22日(木)能美市寺井地区公民館

◆テーマ5: 学びのある教室をめざして

11月27日(火)白山市国際交流サロン

◆テーマ3: 日本語教室のコースデザイン

1月26日(土)石川県留学生交流会館

◆テーマ6: ニーズにあった生きた日本語

2月2日(土)内灘町文化会館

◆テーマ1: 日本語文法とその教え方①

2月9日(土)内灘町文化会館

◆テーマ2: 日本語文法とその教え方②

3月2日(土)石川県国際交流センター

◆テーマ9: 初期指導の考え方と実践

3月9日(土)石川県国際交流センター

◆テーマ10: 「交流型授業」再考

石川県国際交流協会(IFIE)

TEL076(222)5931 FAX076(222)5932 <http://www.ifie.or.jp>